

# 気軽にゼミナール

## ～タブレット活用～(後編) (株)ロジック 可知匡彦

前はタブレットについての概要を説明しましたが、今回は実際の利用事例についてお話します。

全世界からパソコンの売上が減って、タブレットが増えてきていることはすでにお話しました。画面に直接タッチできる直感的な操作性と、キーボードとマウスのないことが一番の魅力であり、パソコンの使えない層の人々がタブレットを使い始めたことも増加の要因ではないかと思えます。

### 【バレーボールワールドカップではiPadが勝利に導いた】

バレーボールのワールドカップで、試合中に監督がiPadを片手に選手に指示を出している場面をご覧になったでしょうか。これはコートの外にいる分析の専門家が、監督のiPadに試合中の様々な情報を逐一送っているのです。このデータを元に意思決定を行った監督は選手に的確な指示を与えるようです。まさにタブレットを活用した情報戦によって勝利をもたらしたといえるでしょう。

### 【タブレットやスマートフォンの利用を加速させたSNS】

SNS(ソーシャルネットワークサービス)で代表されるのはtwitterやFacebookなどがあります。ブログよりも手軽で場所を選ばずその時に伝えたいことを、写した写真にコメントを添えて公開できるのは、タブレットやスマートフォンが有るからです。最新の総務省の調査データから、現在ではインターネット利用者のうち約30%の人がタブレットを使ってSNSを利用していることがわかります。

現在、当社で扱っている社内SNS製品も、タブレット利用を前提に開発しました。ビジネスに於いても社内の情報共有にタブレットを使うユーザーが増えていますので、開発にあたっては当然の選択でした。

以下、当社で手掛けたタブレット利用事例を紹介したいと思います。

### 《事例① 製造現場でタブレットを使って製品管理》

製造業では厳しい日本経済の中、例外なくコストダウンを強いられています。このシステムを再構築する上での条件はタブレットを使った現場コストダウンでした。

各種部品洗浄装置の開発を手掛けるこの大手メーカーは、300台ものタブレットを導入して工場内で実績情報を収集するなどの製

品管理に利用しています。結果として収集データの信頼性向や、人件費の削減に大きく貢献しました。

### 《事例② 農業の現場でタブレットによる栽培情報の収集》

農工連携により開発したこのシステムは、手入力によるミスや効率の悪さを訴える共同提案者である農業法人の発案から始まりました。現場で栽培履歴の入力と集計を行なってノウハウを蓄積することで、今後の農業振興に繋げていこうというものです。



農作業中に手が汚れていてもいいように、タブレット(スマートフォンでも)に向かって喋った内容を、音声認識してデータベースに保存するというのが特色です。

### 《事例③ 客先で在庫照会や注文業務をタブレットで行なう》

日々客先で注文を受けて回る営業にタブレットを持ってもらい、在庫照会から受注まで自社サーバーとのオンラインで行なう住宅関連資材の卸売業の事例紹介です。導入前までは、営業は商品カタログを持ち歩き、最新の単価や在庫の確認は営業が記憶するか、自社に電話で問い合わせをしていました。そして帰社後パソコンで受注入力を行ないますので、業務量が多くなると発注ミスなど様々な問題が発生していました。導入後は客先での受注業務がその場で完了するなどスムーズになり、業務効率化や残業削減に役立っています。

タブレットにはスマートフォンと同じく寿命が早い傾向にありますので、導入するにあたっては費用対効果が最大限活かされるように計画的に行なうことが肝要でしょう。当社ではタブレット利用に関するコンサルティングを行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



### 株式会社ロジック

浜松市中区下池川町18-24  
TEL.053-482-8380  
FAX.053-482-8381  
http://logic-soft.jp

システムハウス  
**Logic**

◀執筆して頂いた 可知匡彦さん